

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 1 区分

【発行日】平成 26 年 9 月 4 日 (2014.9.4)

【公開番号】特開 2013-43794 (P2013-43794A)

【公開日】平成 25 年 3 月 4 日 (2013.3.4)

【年通号数】公開・登録公報 2013-011

【出願番号】特願 2011-181612 (P2011-181612)

【国際特許分類】

C 01 B 37/08 (2006.01)

【F I】

C 01 B 37/08

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 7 月 17 日 (2014.7.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

実験式 (S i_a A l_b P_c M_d) O₂

(式中、M はマグネシウムであり、a は 0.05 ~ 0.17 であり、b は 0.45 ~ 0.55 であり、c は 0.33 ~ 0.45 であり、d は 0.001 ~ 0.030 であり、a + b + c + d = 1 である) により表され、平均一次粒子径が 60 nm 以下であるシリコアルミノリン酸塩モレキュラーシーブ。

【請求項 2】

C H A 型である、請求項 1 に記載のシリコアルミノリン酸塩モレキュラーシーブ。

【請求項 3】

(i) ケイ素源と、(i i) アルミニウム源と、(i i i) リン源と、(i v) 構造規定剤と、(v) アルミニウム源 1 モルに対して 0.001 ~ 0.1 モルの無機又は有機のマグネシウム塩とを含む混合物を水熱処理することを含む方法により得られる、請求項 1 又は 2 に記載のシリコアルミノリン酸塩モレキュラーシーブ。

【請求項 4】

構造規定剤が第四級アンモニウム化合物である、請求項 3 に記載のシリコアルミノリン酸塩モレキュラーシーブ。

【請求項 5】

マグネシウムを除去する工程をさらに含む方法により得られる、請求項 3 又は 4 に記載のシリコアルミノリン酸塩モレキュラーシーブ。